

教育課程特例校における特別の教育課程に基づく教育編成の方針

<筑北小学校 外国語活動>

【編成方針】

- ①1、2学年の「外国語活動」では、自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流しようとする態度の育成を図ります。
- ②外国語活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養います。
- ③外国語活動を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養います。

【実施内容】

- 実施にあたっては、生活科から10時間、学校裁量から10時間の計20時間を充てる。その際、生活科の内容とリンクさせるようにする。(季節行事等)
- 目の前の子どもたちが興味・関心を持っている学習対象は何であるのかを考えながら、授業づくりをする。
- カード遊びやクイズ、ビンゴなどさまざまな学習形態で活動を展開し、子どもたちは楽しみながら、Native speakerの英語に触れることができるようにする。
- 児童が不安なく外国語を楽しむことができるように、シンプルな英語表現で授業を進める。
- 「外国語活動」と「外国語」のスムーズな連携を意識した年間指導計画の見直し・修正を行う。
- 未就園児年間6回の「英語であそぼう」や保育園児年間10回の「英語とともだち」の実践と関連付けながら楽しい外国語活動にしていく。